

# 朝の館内放送

令和2年11月2日

おはようございます、市長の中村健です。

先週、課長職以上の職員を対象とした、イクボス研修を実施しました。

イクボスとは、職場で共に働く部下・スタッフのワークライフバランスを考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績も結果を出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司のことをいいます。

日本経済が右肩上がりで成長を続け、男性は仕事・女性は家庭という役割分担によって社会が支えられていた時期とは異なり、現在は、共働き世帯の割合も多く、性別に関わらず仕事や家庭において自己実現できる環境がより求められている時代といえます。

また、男性が家事や育児に携わる時間が増えるほど出生率が上がり、出産後も女性が就労するほど出生率が上がるという統計調査の結果も出ています。

一方で、過去に実施されたアンケートにおいて、西尾市の男性職員が育児休暇を取りにくいと感じる一番の理由として、「職場の空気」が挙げられています。

イクボス研修でも、制度よりも風土が大事だという話がありました。

しかし、組織における空気や風土については、大なり小なり、その構成員一人ひとりが関係していることを忘れてはなりません。

少数の人間が組織全体の風土を変えようとする場合には、大きな労力を必要とし、大きなストレスがかかると思いますが、今回、市民病院を除く課長職以上の全員を対象に研修を実施し、イクボス宣言もしてもらいました。

これは、男性も女性も育休を取りやすい職場の実現に向け、組織として一丸となって取り組んでいくための、大きなメッセージを出したつもりです。

もちろん、以前も申し上げた通り、育休を取得しない自由を否定するつもりがないことは申し添えておきます。

部下を目先の労働力として見るのではなく、一人ひとりの充実した人生を実現するため、職場における生産性の意識を高めて実際の生産性を上げるため、さらには日本社会における少子化に歯止めをかけるため、全職員の協力を改めてお願いします。

以上で、朝の館内放送を終わります。